

平成 29 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	英語C	担当教員	佐竹 直喜		
学年学科	2年 C, A科	通年	必修	2 単位	
学習・教育目標	(C-2) 100%				
授業の目標と期待される効果: <p>①1年生英語Bに引き続いて、英語コミュニケーション活動、フォーカスオンフォーム活動(意味と形式を効果的に学習する)、ドリル問題を通して、英文法の学習を行う。高専生として、英語力をつけていくための基礎基本となるものであり、毎時間を大切に組み込んでほしい。教員は英語中心の指示で授業を進める。</p> <p>②英語構文を学習する。英語構文はエッセイライティングやTOEIC試験に欠かせないものであり、高専生としての英語力を飛躍させるためには重要なものになる。</p> <p>③エッセイライティングの基礎を学ぶ。高専生が身につける力として、一定の長さの英語の文章を書き、自分の研究内容を伝えられる力がある。その第一歩として必要な要素を学ぶ。</p> <p>①コミュニケーション活動を通し、英文法を積極的に学び取り、理解を深める。 ②授業内外で英語を学習する習慣をつける。 ③英語構文を使えるようにする。 ④エッセイライティングの基礎が分かる。</p>		成績評価の方法: 試験 前期: 中間試験100点 期末試験100点 小テスト・テキスト提出40点、長期休暇課題関連80点 (計320点) 後期: 中間試験100点 期末試験100点 小テスト・テキスト提出40点、長期休暇課題関連80点 (計320点) 前期後期の重みづけを等しくし、得点率(%)で成績をつける。 *また授業態度が良くない場合などは大幅な減点もあるので注意すること。 <u>長期休暇課題関連は達成しない場合、評定を不合格とする場合があるので注意すること。</u> その他のことは、授業で指示するので確実に確認すること。 達成度評価の基準: 以下の項目に関する教科書レベルの試験・課題の総合点が 60%以上に達すれば合格とする。 ①文法知識 ②語彙力 ③文法知識と語彙力を基にした読解力 ④文法知識と語彙力を基にした英語作文力 ⑤英語構文の知識			
授業の進め方とアドバイス: 授業では、教科書と参考書に沿って文法事項を学習する。授業には必ず英和辞書を持参すること。指示された予習は必ず行い、わからない単語は辞書で調べてから授業に臨むこと。各授業の復習を欠かさず行い理解できていない点は、後回しにせずその都度教員に質問するようにして、理解と定着に努めること。毎時間、「英語力がついた」と実感できるよう積極性を持って授業に参加してほしい。					
教科書および参考書: ・1年生英語Bで使用した教材すべて ・Steady Steps to Writing 和文分析からはじめる英作文(数研出版)					
授業の概要と予定: 前期					ALのレベル
第 1回: 課題テスト、関係詞(2)					B
第 2回: 関係詞(3)					B
第 3回: Plus 関係詞					B
第 4回: 比較(1)					B
第 5回: 比較(2)					B
第 6回: Plus 比較					B
第 7回: 仮定法(1)					B
第 8回: 中間試験					
第 9回: 仮定法(2)					B
第10回: 時制の一致と語法					B
第11回: 否定、疑問文、感嘆文					B
第12回: さまざまな表現、代名詞					B
第13回: 前置詞、接続詞, Drill 1~4					B
第14回: 文法のまとめ					B
期末試験					
第15回: 復習 関係詞					B

授業の概要と予定:後期	ALのレベル
第16回:復習 仮定法	B
第17回:復習 不定詞	B
第18回:英語構文、英作文活動①	B
第19回:英語構文、英作文活動②	B
第20回:英語構文、英作文活動③	B
第21回:英語構文、英作文活動④	B
第22回:英語構文、英作文活動⑤	B
第23回:中間試験	
第24回:英語構文、エッセイライティングの基礎①	B
第25回:英語構文、エッセイライティングの基礎②	B
第26回:英語構文、エッセイライティングの基礎③	B
第27回:英語構文、エッセイライティングの基礎④	B
第28回:英語構文、エッセイライティングの基礎⑤	B
第29回:英語構文、エッセイライティング発表	C
期末試験	
第30回:言葉の習得について改めて考える、3年生へ向けて	B

評価(ルーブリック)

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	語彙力に関する問題を正確に(8割以上)解くことができる	語彙力に関する問題をほぼ正確に(6割以上)解くことができる	語彙力に関する問題を6割以上解くことができない
②	文法知識に関する問題を正確に(8割以上)解くことができる	文法知識に関する問題をほぼ正確に(6割以上)解くことができる	文法知識に関する問題を6割以上解くことができない
③	英語構文に関する問題を正確に(8割以上)解くことができる	英語構文に関する問題をほぼ正確に(6割以上)解くことができる	英語構文に関する問題を6割以上解くことができない
④	文法知識と語彙力を基にした英語作文力に関する問題を正確に(8割以上)解くことができる	文法知識と語彙力を基にした英語作文力に関する問題をほぼ正確に(6割以上)解くことができる	文法知識と語彙力を基にした英語作文力に関する問題を6割以上解くことができない